



平成22年10月14日

各位

会社名 JVC・ケンウッド・ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 兼 社長 兼 CEO 河原 春郎
(コード番号 6632 東証第一部)
問合せ先 取締役 兼 CFO 不破 久温
(TEL 045-444-5232)

平成23年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、当第2四半期の損益の見通しをふまえ、本年7月28日に発表いたしました平成23年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想を修正いたします。

記

1. 業績予想数値の修正

第2四半期連結累計期間の業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (本年7月28日発表)	180,000	2,500	△500	△7,000	円 銭 △7 24
今回修正予想 (B)	177,000	5,000	2,000	△3,000	円 銭 △3 10
増減額 (B-A)	△3,000	+2,500	+2,500	+4,000	—
増減率 (%)	△1.67	+100.0	—	—	—
(参考) 前年同期実績	203,324	△7,809	△10,955	△16,849	円 銭 △17 43

(注) 本年5月14日に発表しました1株当たり四半期純利益は、本年8月1日付の株式併合を考慮した期中平均株式数を用いて算出しておりましたが、前年同期実績との比較ができるよう、上記の前回発表予想 (A) および今回修正予想 (B) の1株当たり四半期純利益は、期初から株式併合までの期間の平均株式数を用いて算出した数値といたしました。

2. 修正の理由

当第2四半期は、当第1四半期に引き続き、好調に推移しているカーエレクトロニクス事業の営業利益が想定を大きく上回る見込みであることに加え、業務用システム事業の営業利益は、業務用無線機器分野の利益回復とビジネス・ソリューション分野の原価、固定費などのコスト削減による損益改善がそれぞれ想定を大きく上回り、赤字の想定に対して黒字となる見込みです。また、ホーム&モバイルエレクトロニクス事業、エンタテインメント事業でも損益改善または利益回復が想定を上回り、全事業セグメントの営業利益が計画を上回る見込みとなりました。

以上のとおり、主力事業の好調と全社でのコスト削減の効果により、全社の営業利益は計画を大きく上回り、前第4四半期、当第1四半期に続いて3四半期連続で経営統合後の最高益を更新し、経常利益は2四半期連続の黒字となる見込みです。

また、構造改革は予定どおりに進んでおりますが、これにともなう特別損失が想定よりも少なくすんだことなどから、当第2四半期の四半期純損失は計画よりも大幅に縮小する見込みです。

当社は、こうした当第2四半期の損益の見通しをふまえ、当第1四半期の損益を含めた当第2四半期連結累計期間の業績予想を修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の各事業の実績をふまえ、当第3四半期以降の経済環境の変化も考慮して、本年10月28日に予定している当第2四半期決算と併せて発表いたします。

以上